

## 福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（10月分）

留学先大学：ルーマニア・アメリカ大学

氏名：白越 明

<はじめに>

10月になり、新しい学期が始まりました。長かった夏休みも終わり、ルーマニア留学の最終章に突入です。ルーマニアは秋で、木々が紅葉してとても綺麗です。過ごしやすく、食べ物もおいしい秋は、私の一番好きな季節です。栗ご飯や、さんまなど日本の秋がとても恋しくもあります。この10月の報告書では、新学期の授業内容や、最初の学期との違いなどについてお話したいと思います。

<1<sup>st</sup> Semester 1<sup>st</sup> module>

10月から新学期の1モジュールの授業が始まりました。前学期と同様に、1学期が前半と後半（module）に分かれていて、それぞれで授業も変わります。1moduleの時間割は以下の通りです。

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
11:30~12:50	<b>International Trade</b>	<b>Microeconomics</b>			
13:30~14:50	<b>International Trade</b>	<b>Microeconomics</b>			
15:00~16:20	<b>International Business Management I</b>	<b>Microeconomics</b>	<b>International Business Management I</b>	<b>International Trade</b>	
16:30~17:50	<b>International Business Management I</b>	<b>Microeconomics / International Business Management I</b>		<b>International Trade</b>	

ルーマニアでの授業も2学期目になり、前期よりも余裕が出てきて、いろんなことにも目を向けることが出来るようになりました。もうすでに何度か書いていると思いますが、福井大学には経済系の授業があまりないため単位交換が難しいのですが、この学期は単位交換のことはあまり考えずに、自分の取りたい科目、受けたい授業を取ることに決めました。本来、日本では取れない、留学先でしか取れない授業を取ることが留学の醍醐味だと思うし、単位交換に縛られて自分の学びたいことができないのは本末転倒だと思うからです。ですので、一年生のMicroeconomicsは唯一この学期単位交換を確実にしてもらえそうな授業で

すが、そのほかは単位認定してもらえる可能性はかなり低い、3年生の貿易関係の専門的な授業です。

1年生はコンピュータサイエンスの学部と一緒な授業なので、人数が多く少しガヤガヤしていることが多く、2、3年になるにつれて少人数のクラスになって話し合いなどが多くなっていくように思えます。

International Trade と International Business Management 1 の授業を取ろうと思った理由は、最近国際貿易に興味を持ち始めたからです。前の学期に、International Businessなどを学び、もっと国際貿易について勉強してみたいと思いました。また、福井大学にはこのような授業がないので、勉強できるのはここでだけだと思い、後期は国際貿易中心の授業を取ることにしました。特に、International Business Management 2 の授業は私にとってとても面白く、国際貿易の仕組みや、売り手から外国の買い手まで商品が渡るまでの流れや、支払い、契約など、またその取引の仲介役についてなどを学んでいます。留学前は、まさか自分がこのような分野に興味を持つとは思っていませんでした。福井大学にはこのような国際貿易に関する授業がないので、これはこの大学に来なかったら気が付けていなかったと思います。この留学を通して自分がどんなことに興味があるのか知ることができたし、就職にも生かせるので良かったです。

<まとめ>

来月はテストがあるので、気を引き締めてしっかり勉強したいと思います。ブカレストでの生活に慣れてきて、少し新鮮味が薄れていた時期もありましたが、授業で忙しくなったり、新学期で新たな友達ができたりと、また生活が充実してきたような気がします。慣れに逃げず、新たな出会いや新たなチャンスを大切にしていきたいです。



(上) トルコ人の友達。

(右) トルコ人の友達が家に来て作ってくれたトルコ料理。名前は聞いたけど忘れちゃった。笑

